

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	スペルマン大学	氏名	
国名	アメリカ合衆国	学籍番号	
留学期間	2023年 8月 ~ 2024年 5月	記入年月日	2024年 6月 3日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: Politican Science			
科目名	Human Rights and Conflict Resolution	科目名	Intor to Political Inquiry
授業内容	人権全般に関する授業。宿題は特になく、学期末のプレゼンテーション、学期末のレポートと期間中3回のテストのみ。テストが筆記のため1回目のテスト対策に苦戦した。学期末のレポートは学期末のプレゼンテーションの内容のもの。	授業内容	独立変数と従属変数の設定方法や、分析方法について学習する授業。総合政策学部の統計やセミナーの内容と非常に似ている。ただ、ペーパーの書き方を学ぶことができる。3回の小テストと論文の提出が必須。
授業形式	座学	授業形式	座学
単位数	4	単位数	4
サイズ	20人程度	サイズ	15人程度
難易度 Course No.	300番台	難易度 Course No.	100番台
宿題の量	なし	宿題の量	少ない
コメント	私がスペルマンで受けた授業の中で最も人数の多い授業でした。教授は積極的に学生に意見を求めたり、また日本との違いを聞いてくれるので拙い英語でもしっかり自分の意見を持ち伝えることが大切だと感じました。	コメント	「The 総合政策学部！」だなと感じた授業です。変数の設定をし学期末にゼミ論くらいの長さのレポートを提出します。教授がとても優しいです。
科目名	Women in Latin American History	科目名	Women and Gender in Modern African History
授業内容	ラテンアメリカの形成と発展における女性の役割に焦点を当て、1490年から2000年のラテンアメリカにおける女性とジェンダーについての授業。	授業内容	アフリカのさまざまな社会で、女性が権力を獲得するためにとった戦略や、政治的、社会的、経済的アクターとしてどのように権力を行使したかを探求する。
授業形式	座学	授業形式	セミナー
単位数	4	単位数	4
サイズ	20人程度	サイズ	15人程度
難易度 Course No.	300番台	難易度 Course No.	400番台
宿題の量	多い	宿題の量	多い
コメント	教授はとても気さくな方で、最初の授業の時に必要なヘルプがあれば言ってねと声をかけてくださいました。評価基準が随時変わったり宿題のフォーマットや提出方法が複雑でした。同じクラスの子たちも混乱していたので最初のうちに解決しておくといいと思います。	コメント	セミナー形式の授業で、学生の意見交換が頻繁に行われていました。この授業でも日本との比較を問われることもありました。

科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>英語のアクセントが強い教授の授業は聞き取るのがとても大変だったので教授に授業の録音許可を取り聞き取れるまで何度も聞いたり、どうしてもわからない時は友達に聞いたりしていました。授業がスタートして3週間くらいでだんだんと聞き取れるようになり、秋セメスターが終わる頃には慣れていました。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>日本語のチューターをしていました。授業時間が被っていない限り日本語の授業に参加したり、Tutoring Hourを設けて日本語の授業を履修している子たちの質問に答えていました。私は留学中に日本語の先生のParks先生(日本人の方です)に非常にお世話になりました。Parks先生はSpelman Collegeだけでなくすぐ近くのGeorgia Techでも日本語を教えていらっしゃる、そちらの日本語の授業にも何度も参加させていただきました。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所 キャンパス内のLLC2</p> <p>設備についての簡単な説明 生活するには十分な広さの部屋で、机とベッドとタンスが備え付けで置いてありました。シャワー、トイレ、簡易キッチンが共同です。</p> <p>部屋について 1 人部屋 広さ 畳くらい</p> <p>ルームメートについて いませんでした。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法 これまで津田の留学生が代々残してくれていたものがいくつかあったのでそちらを使わせていただきました。ただ寝具などはDr. Liu(日本語の先生です)が貸してくれました。また、スペルマンに到着してすぐにDr. LiuがTargetと一緒に行ってきてそこで他に必要なものを揃えました。</p> <p>生活の感想 生活をやる上で特に困ったことはありませんでした。ただエアコンは一年中暖房にならないので冬はとにかく着込みまくってしのぎました。また困りごとは量のグループチャットがあるのでそこで聞いたり、各フロアにRAの子が必ずいるのでその子たちにヘルプを求めるといいと思います。確実に助けてくれます。あとは、鍵を部屋に置き忘れてしめ出されると開けてもらうのに5ドルかかってしまうので注意です。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>学校のカフェテリアで3食食べることができます。最初は南部料理で脂っこく味付けも濃いなぁと感じることも多々ありましたが、徐々に慣れていくと思います。また秋セメスターと春セメスター合わせて200ドルが学生カードに入っているの、それは学内のスタバやお寿司屋さん、Slutty Veganなので使うことができます。</p>

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	AIGの海外留学保険	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	(直行便)250640 円
	帰国旅費	138,280 円
	引越し(往復で)	0 円
	保険	235,070 円
	語学研修費	0 円
	留学先学費	0 円
	本学学費	200,000 円
	教材費	0 円
	住居費	0 円
	食費	50,000 円
	その他(一時帰国)	335,900 円
	(費	
	(ボスカヤリ)	150,000 円
	()	円
	合計	1,109,250 円
	換算率 (1ドル = 152 円)	
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください	
	津田塾大学海外留学奨学金(給付)	
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	食事系だとドレッシングと醤油とふりかけです。私はどうしてもカフェテリアのドレッシングが好きになれなかったのでH Martででっかい胡麻ドレッシングを買って毎回持参していました。その他には生理用品や自分がいつも服用している薬、基礎化粧品などは持参すべきだと思います。	
	留学前にしておけばよかったこと	
	南部のアクセントに慣れておけばよかったなと思います。ただ、到着してからでもすぐに慣れることができるので、最初の1ヶ月くらいでたくさん南部のアクセントに触れておくことが大切だと思います。	

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>学習面では南部のアクセントに慣れるのに苦労しました。時間がたてば徐々に慣れていくので最初のうちは「わからなかったらとにかく聞く」ことを大切にしていました。生活面では、私の隣の部屋の子が朝方まで音楽を爆音で聴くタイプの子だったので夜静かに眠る環境を整えるのに一苦労しました。しかし、RAの子に相談すると一定期間良くなるので本当にRAの子にお世話になりました。また、シャワーも慣れるのに苦労しました。現地のスペルマンの学生でも寮のシャワーの文句を言っていたくらいで、私は慣れるまでジムのきれいなシャワーを使っていましたが、ある時から「いけるかも！」と思い、寮のシャワーも使えるようになりました。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>もちろん英語力も向上したと思いますが、なによりも精神的にもすごくタフになったと思います。私は1人で海外にこんなに長い期間生活するのは初めてだったので毎日が物凄く刺激的で楽しいことも辛いことも全部1人で乗り越えなければいけないことが最初はしんどかったですが、徐々に「なんとかなるでしょ！」精神で乗り切ることができました。物事に動じることも減りました。また徐々に友達も増え本当の意味で多様性を理解することができたと思います。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>留学中に内定をいただいた企業に就職する予定です。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>少しでも興味があるなら是非！と言いたいところですが、スペルマンへの留学は興味とかなりの勇気と覚悟を持ち合わせてすべきだと思います。もちろん、留学中の出来事はすべて私の大切な思い出ですし、一生忘れられません。スペルマンでしか体験できないこともたくさんあります。スペルマンでのスペシャルな経験を少しでも多くの津田塾生にしていきたいです。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>この場をお借りして、留学前から留学後までフルサポートしてくださり、スペルマンへの留学という素敵な機会をくださった国際センターの皆様には感謝申し上げます。</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※写真の掲載を許可する場合は、写真に写っている全員の許可をとってください。

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコンで入力してください。

※ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。